

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-72232(P2004-72232A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-225902(P2002-225902)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/232

G 0 3 B 17/02

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月4日(2005.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電源の投入を指示するスイッチと、

操作者のホールディングを検出するセンサと、

前記スイッチの操作が為されている時の前記センサの検出を検知する検知手段と、

前記検知手段による検知に応じて、電源を投入させる制御を行う制御手段と、

を備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項2】

前記スイッチは、電源の投入とともに撮影装置のモードを再生モードに設定するためのスイッチであり、

前記制御手段は、前記検知手段による検知に応じて、電源を投入させて撮影装置のモードを再生モードに設定する制御を行うことを特徴とする請求項1記載の撮影装置。

【請求項3】

電源の投入とともに撮影装置のモードを第1のモードに設定するための第1のスイッチと、

電源の投入とともに撮影装置のモードを第2のモードに設定するための第2のスイッチと、

操作者のホールディングを検出するセンサと、

前記第1のスイッチの操作を検知する第1の検知手段と、

前記第2のスイッチの操作が為されている時の前記センサの検出を検知する第2の検知手段と、

前記第1の検知手段の検知に応じて電源を投入させて撮影装置のモードを第1のモードに設定し、前記第2の検知手段の検知に応じて電源を投入させて撮影装置のモードを第2のモードに設定する制御手段と、

を備えることを特徴とする撮影装置。

【請求項4】

前記第1のモードは撮影モードであり、前記第2のモードは再生モードであることを特徴とする請求項3記載の撮影装置。

【請求項5】

前記第1のスイッチは、スライド動作により開状態及び閉状態それぞれに状態変化が可能に構成され、

前記第1の検知手段は、前記第1のスイッチの操作の検知として、前記第1のスイッチが開状態となったことを検知することを特徴とする請求項3記載の撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1記載の発明は、

電源の投入を指示するスイッチと、

操作者のホールディングを検出するセンサと、

前記スイッチの操作が為されている時の前記センサの検出を検知する検知手段と、

前記検知手段による検知に応じて、電源を投入させる制御を行う制御手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

したがって、スイッチの操作が検知された場合であっても、センサにより操作者のホールディングの検出が行われない場合は、電源が投入されない。すなわち、誤操作により、スイッチが操作された場合であっても、電源が投入されてしまうことがないため、撮影装置の電源が無駄に消費されることがない。

また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の撮影装置において、

前記スイッチは、電源の投入とともに撮影装置のモードを再生モードに設定するためのスイッチであり、

前記制御手段は、前記検知手段による検知に応じて、電源を投入させて撮影装置のモードを再生モードに設定する制御を行うことを特徴とする。

したがって、検知手段による検知に応じて、速やかな電源の投入を行うとともに、撮影装置のモードを再生モードに設定することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項3記載の発明は、

電源の投入とともに撮影装置のモードを第1のモードに設定するための第1のスイッチと、

電源の投入とともに撮影装置のモードを第2のモードに設定するための第2のスイッチと、

操作者のホールディングを検出するセンサと、

前記第1のスイッチの操作を検知する第1の検知手段と、

前記第2のスイッチの操作が為されている時の前記センサの検出を検知する第2の検知手段と、

前記第1の検知手段の検知に応じて電源を投入させて撮影装置のモードを第1のモードに設定し、前記第2の検知手段の検知に応じて電源を投入させて撮影装置のモードを第2のモードに設定する制御手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

したがって、電源の投入とともに撮影装置のモードを第1のモードに設定するための第1のスイッチと、電源の投入とともに撮影装置のモードを第2のモードに設定するための第2のスイッチとを備え、第1のスイッチは、スイッチの操作のみで電源の投入と第1のモードの設定とを行う。一方、第2のスイッチについては、第2のスイッチの操作が為されている時のセンサの検出の検知によって、電源の投入と第2のモードの設定とを行う。これにより、操作されるスイッチに応じて、速やかな電源の投入を行うと共に、対応するモードに設定することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項4記載の発明は、請求項3記載の撮影装置において、
前記第1のモードは撮影モードであり、前記第2のモードは再生モードであることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項5記載の発明は、請求項3記載の撮影装置において、
前記第1のスイッチは、スライド動作により開状態及び閉状態それぞれに状態変化が可能に構成され、
前記第1の検知手段は、前記第1のスイッチの操作の検知として、前記第1のスイッチが開状態となったことを検知することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

【発明の効果】

請求項1記載の発明によれば、スイッチの操作が検知された場合であっても、センサにより操作者のホールディングの検出が行われない場合は、電源が投入されない。すなわち、誤操作により、スイッチが操作された場合であっても、電源が投入されてしまうことがないため、撮影装置の電源が無駄に消費されることがない。

また、請求項 2 記載の発明によれば、請求項 1 記載の発明の効果に加えて、検知手段による検知に応じて、速やかな電源の投入を行うとともに、撮影装置のモードを再生モードに設定することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

請求項 3 記載の発明によれば、電源の投入とともに撮影装置のモードを第 1 のモードに設定するための第 1 のスイッチと、電源の投入とともに撮影装置のモードを第 2 のモードに設定するための第 2 のスイッチとを備え、第 1 のスイッチは、スイッチの操作のみで電源の投入と第 1 のモードの設定とを行う。一方、第 2 のスイッチについては、第 2 のスイッチの操作が為されている時のセンサの検出の検知によって、電源の投入と第 2 のモードの設定とを行う。これにより、操作されるスイッチに応じて、速やかな電源の投入を行うと共に、対応するモードに設定することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

請求項 4 記載の発明によれば、請求項 3 記載の発明の効果に加えて、例えば、操作者が撮影を行いたい場合は、第 1 のスイッチを操作するだけで、撮影装置の電源を投入させて、撮影モードに設定させることができるため、容易かつ速やかに撮影を行うことができ、良好な撮影機会を逃すことがない。また、例えば、操作者が画像の再生を行いたい場合は、第 2 のスイッチを操作すると共に、操作者のホールディングをセンサにより検出させることにより、撮影装置の電源を投入させて、再生モードに設定させることができ、誤操作により電源が投入され、表示のための駆動部が起動されてしまうことがない。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

請求項 5 記載の発明によれば、請求項 3 記載の発明の効果に加えて、第 1 のスイッチの構成によれば、誤操作が起こりにくく、操作者の意図しない操作により、撮影装置の電源が投入されてしまうこと防止することができる。これにより、例えば、第 1 のスイッチが操作された場合は、センサによる検出の有無に関わらず、撮影装置の電源を投入させることができるために、処理工程を省いて、速やかに撮影装置の電源を投入させることができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

